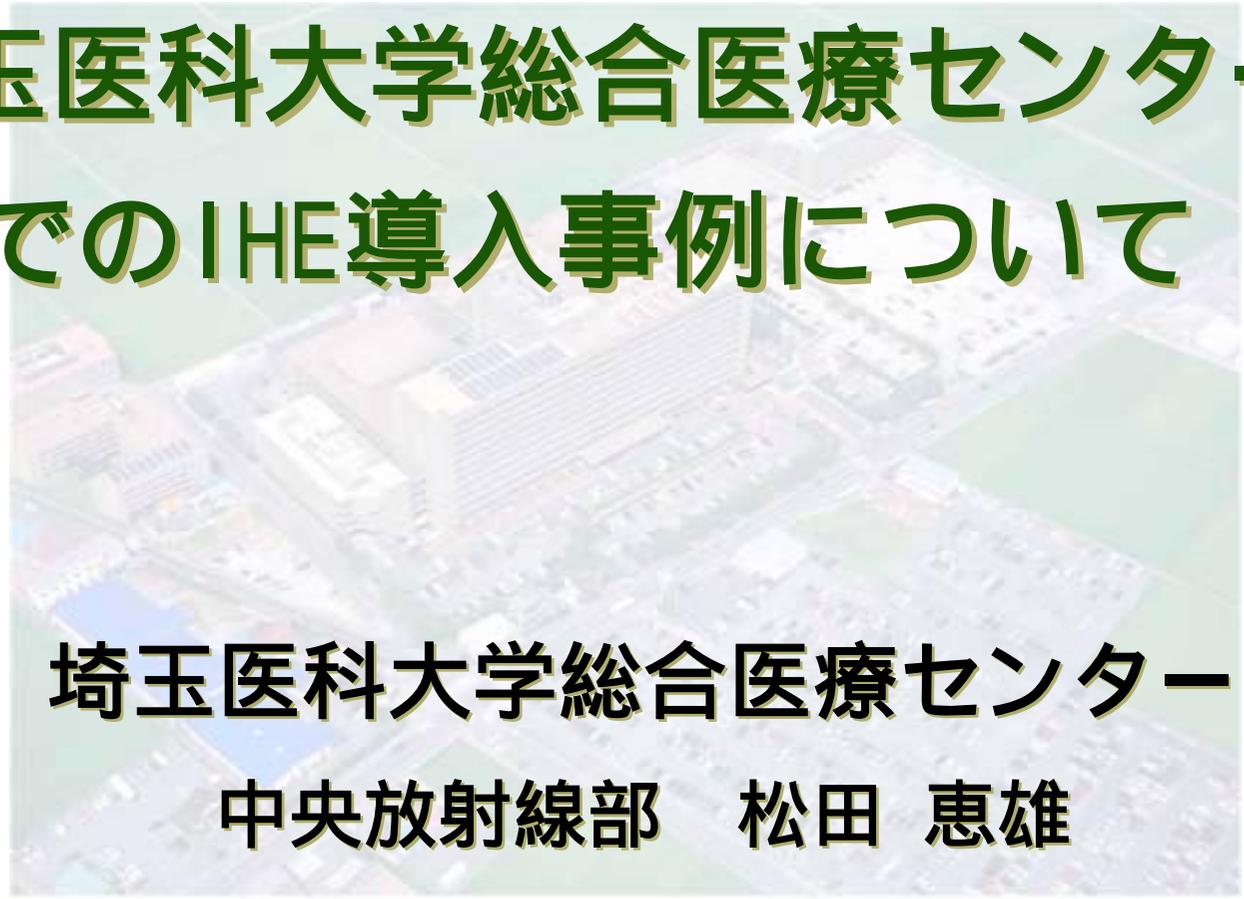




**（学校法人）埼玉医科大学
（埼玉医科大学総合医療センター）
でのIHE導入事例について**



**埼玉医科大学総合医療センター
中央放射線部 松田 恵雄**

学校法人埼玉医科大学

平成17年3月（1年余前）
電子カルテ稼働開始
本年6月参照画像配信開始



FUJITSU

Web版電子
カルテ本体

川越クリニック
埼玉県川越市



埼玉医科大学病院
埼玉県入間郡毛呂山町
【1483床】



総合医療センター
埼玉県川越市
【913床】



国際医療センター
平成19年開院予定
埼玉県日高市
【600床予定】

埼玉医科大学総合医療センター

【所在地】 埼玉県川越市鴨田辻道町1981

【施設概要】 敷地面積 30876m²・延床面積 69813 m²地下2階 地上10階建

【病床数/外来患者数】 913床/約2000人 (1日平均)

【一般撮影検査数/撮影数/】 約300件 / 約500撮影 (1日平均)

【診療放射線技師数】 51人

【施設概要】 高度救命救急センター
周産期母子医療センター
時間外診療(24時間/365日)

【中央放射線部概要】

電子カルテシステム

放射線部門システム

画像システム(PACS)

画像報告書システム

検像システム(5/22~)

参照画像配信(6/5~)

CRシステム 16台

CT装置 4台

MR装置 2台

血管撮影 2台

透視装置 5台

核医学装置 3台

治療装置 3台



埼玉医科大学とIHE-J



国内で初めてIHE-Jを用いることで
放射線部門のシステム連携を実現した施設

時期的な幸運（電子カルテ導入時期にシステム構築）

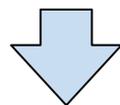
人的な幸運（IHE-Jの委員が二名・情報システム推進方針）

採用時の幸運（経済産業省の実証事業に採択）

プロジェクトの幸運（担当各社の熱意と体制）

IHE-J普及の状況（導入時：2年前）

- 日本でも放射線部分の検討が先行
- 実稼働に必要な基本的検討は完了
 - 十分実運用レベルなのに・・・
- 国内導入実績・稼働実績共に全く無し

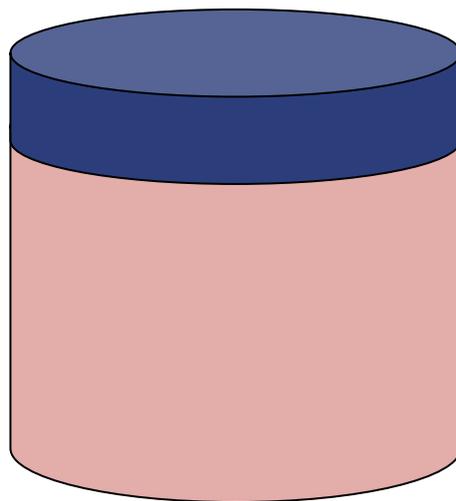


どこか一カ所でも導入し、
その有用性を証明したい！
（と、同時に問題点を把握してフィードバック）

経済産業省

平成16年度 経済産業省 実証事業
「医療情報システムにおける相互運用性の実証事業」

採択：国内初の実証事業へ



事業継続中 < 平成17年度・平成18年度 >

電子カルテの放射線オーダーに実装



処方（薬剤）



給食オーダー



放射線オーダー



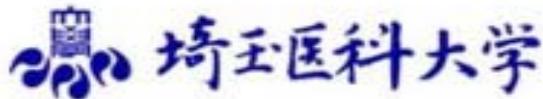
採血オーダー



生化学検査オーダー

システム概要 (放射線部門)

経済産業省実証事業
「ショールーム型IHE-J実証事業埼玉コンソーシアム」



KONICA MINOLTA



株式会社 イメージワン



経済産業省 平成16年度 先進的分野我が国の情報化推進事業
医療情報システムにおける相互運用性の実証事業
IHE-Jを用いた相互運用性に関する
放射線部門を題材としたショールーム型実証事業
ショールーム型IHE-J実証事業実行コンソーシアム
学校法人 埼玉医科大学



電子カルテ
FUJITSU
ADT・Order Placer



放射線情報システム (RIS)
YOKOGAWA
DSS/Order Filler



画像報告書システム
HITACHI
Report Creator・Report Reader
Report Manager・Report Repository



モダリティ (DR装置)
TOSHIBA
Acquisition Modality
(JJ1017連携)



画像 Viewer
Image Display
Portable Media Creator



PACS (画像システム)
KONICA MINOLTA
Image Manager・Image Archive
Image Display

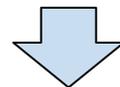


powered by
AMI

目的（平成16年度）

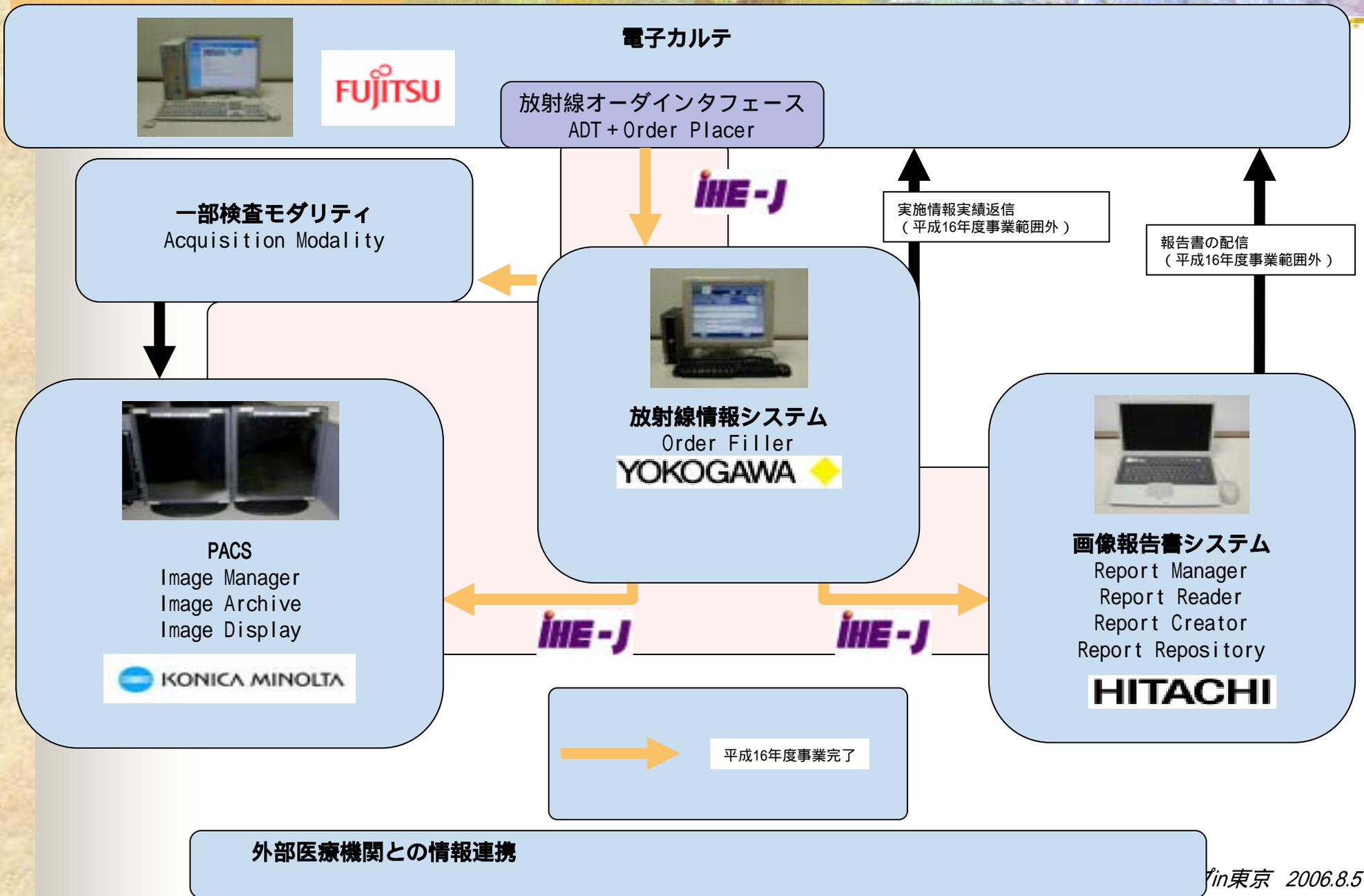
IHE-Jガイドラインの普及促進に資するため

- 実際の医療機関で採用可能なレベルにあることを証明
 - 明確な成功例として見学可能な体制とショールームを用意（情報公開）
 - Webサイト構築（saitama-ihe.jp）
- 実稼動により判明する問題点の把握
 - IHE-Jの委員会にフィードバック



IHE-Jに関する情報提供を行い採用障壁を低くする

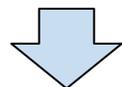
平成16年度 経済産業省 医療情報システムにおける相互運用性の実証事業 事業成果



目的（平成17年度）

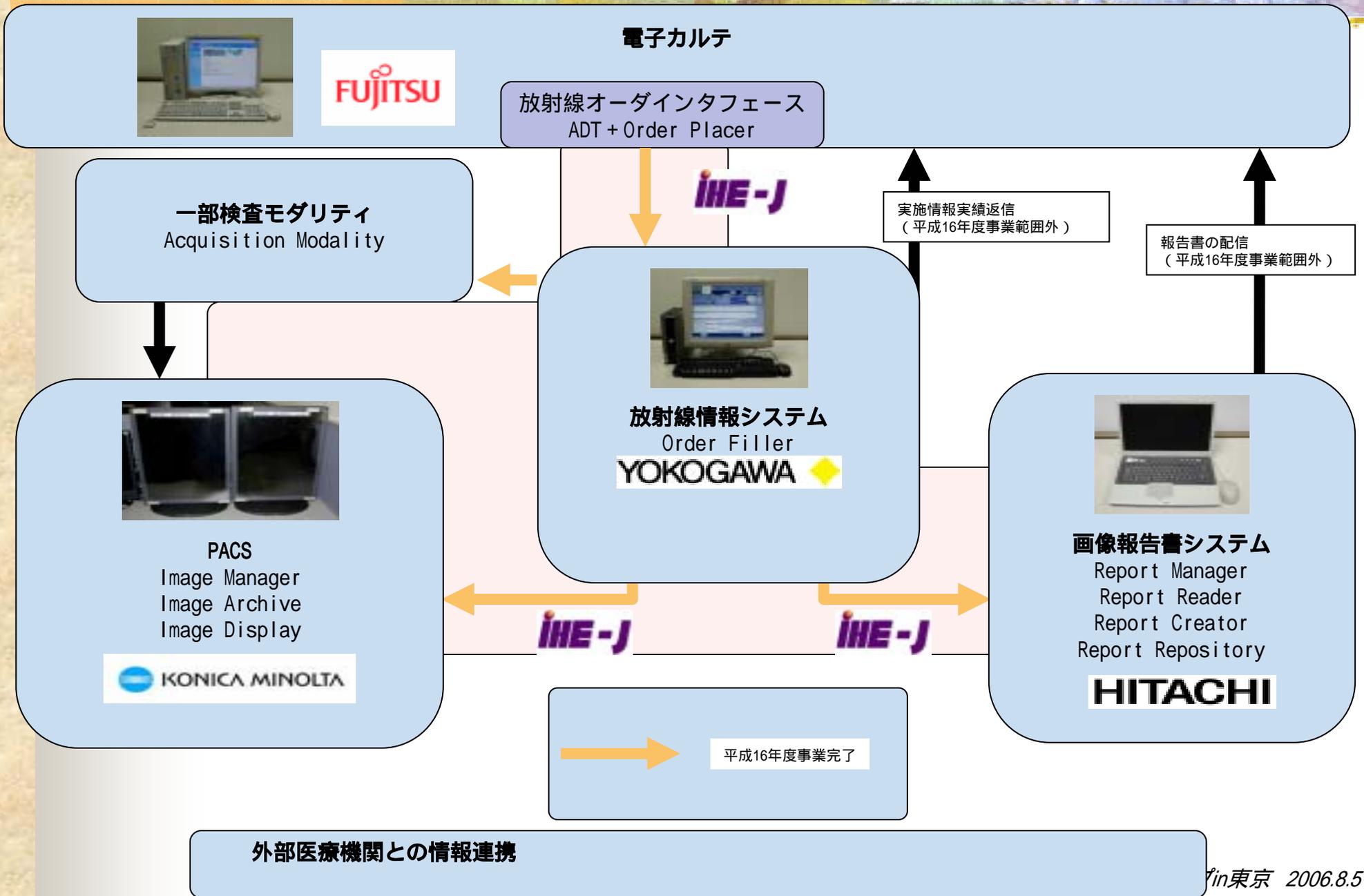
IHE-Jガイドラインの普及促進に資するため

- 放射線分門の完結に向けた採用の拡大
 - 要望の高い連携を優先実装する
 - 標準化の完結比率向上を目指す
- 実際に運用している施設からの提案
 - 臨床上必要な情報連携の追加
 - 埼玉医科大学としてのユース・ケース



IHE-Jに関する情報提供を行い採用障壁を低くする

平成16年度 経済産業省 医療情報システムにおける相互運用性の実証事業 事業成果



導入スケジュール（日程）

順調に移働中

- 平成17年3月22日
 - 電子カルテ稼働・IHE-Jシステム本稼働

放射線部における連携不具合状況 (平成17年4月から本年3月まで)

- システムの予定外停止・照射録対応
 - 1回 : 10分間 (原因: プログラム不良)
- システムの予定停止
 - ネットワーク切り替え (回線増強) × 3回
- 連携不良
 - オーダ : 22回 (原因: 数値・文字定義の不整)
 - コード : 1回 (原因: JJ1017マスタの定義不良)
- 作業対応・医療改定
 - ADTの重複 : 1回 (電子カルテ不正入力による)
 - 医療改定の対応はありません (不要) でした

稼動後1年で出た改修要望

■ IHE-Jに由来する連携部分の改修要望

- 入退院もADTとして自動連携すべきである
- 核医学の注射・検査オーダ分離が煩雑である
- JJ1017利用の頸椎側面オーダが判別しづらい



■ システム実装由来の使い勝手部分の改修要望

- 音声ファイルのハンドリングと精度
- 実施コメントの文字数を無限に拡張して欲しい
- プリンターの設置場所を変更して欲しい
- ポーリング（再検索時間）を短縮して欲しい
- 集計方法の操作を容易にして欲しい
- 会計未実施のオーダは終了時に注意喚起を
- 帳票印刷内容の項目数を増加して欲しい

製品仕様



埼玉医大が

iHE-J

で 実現したこと

臨床稼動可能な統合プロフィールを実装



IHE-Jを用いて放射線部門における情報連携を実現

検討した統合プロフィール

採用 臨床稼動

SWF統合プロフィール（JJ1017連携含）
PIR統合プロフィール
CPI統合プロフィール
PDI統合プロフィール
XDS-I統合プロフィールの情報連携概念

非採用

XDS-I統合プロフィールのWADO
SINR統合プロフィール
RWF統合プロフィール（
Report Creator
Report Manager間）

マルチベンダ構成でも、
きめ細やかな情報連携を
実現したい。

しかも、最小限の労力で・・・。

マルチベンダだからこそIHE-J

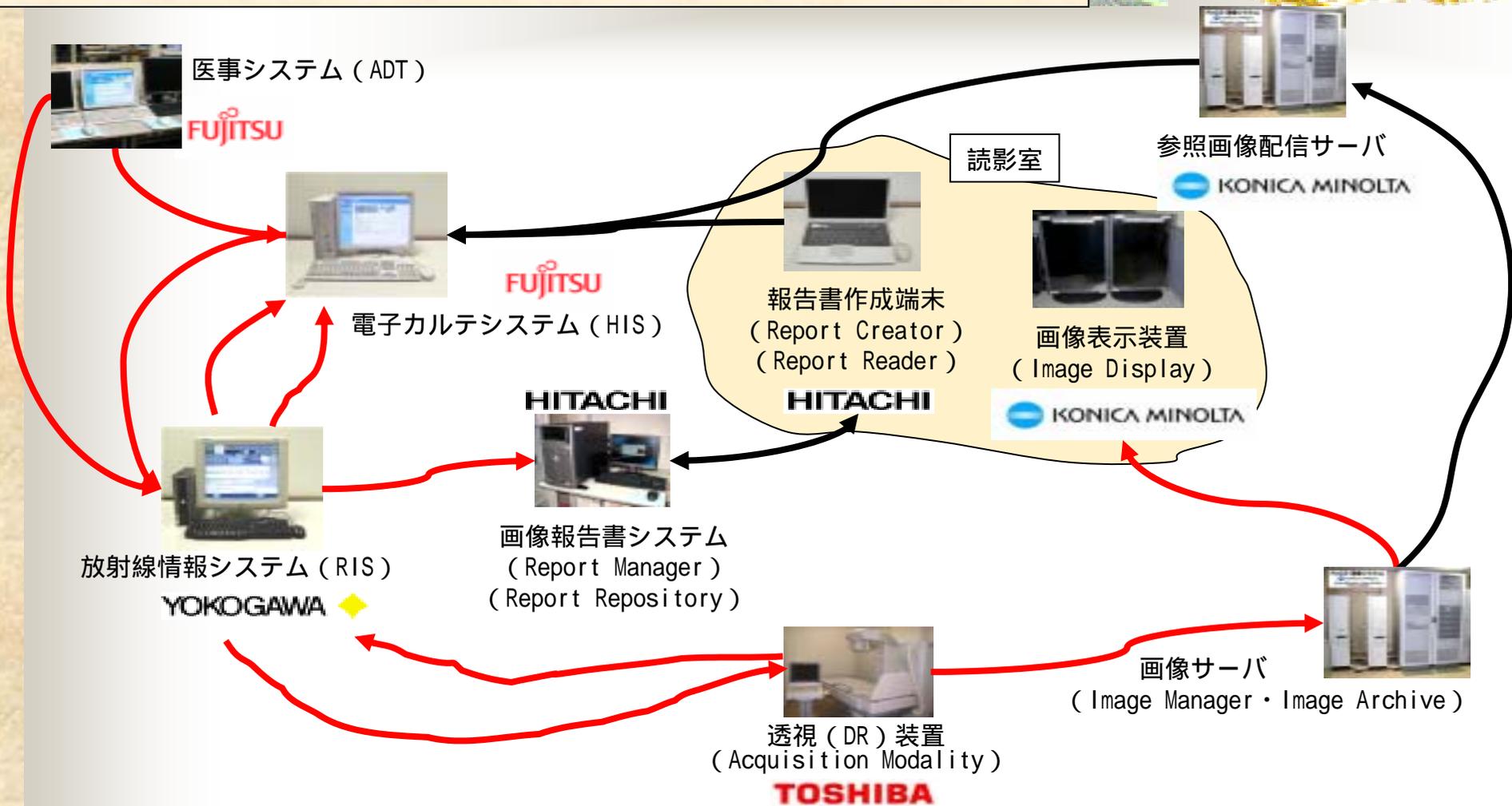
- IHE-Jにはテクニカル・フレームワーク（TF）という仕様書が既に存在する。
- IHE-Jに規定された連携が担保される
- 自施設に特有な情報のみを仕様指定
 - HIS RIS間の連携や、RIS HIS間のステータス連携がそのまま実現可能。
 - 値の策定にリソースを投入。



SWF統合プロファイル

SWF : Scheduled Workflow
(通常運用のワークフロー)

IHE-JにおけるSWF統合プロファイルのシステム連携



「放射線情報システム」

と、連携できない

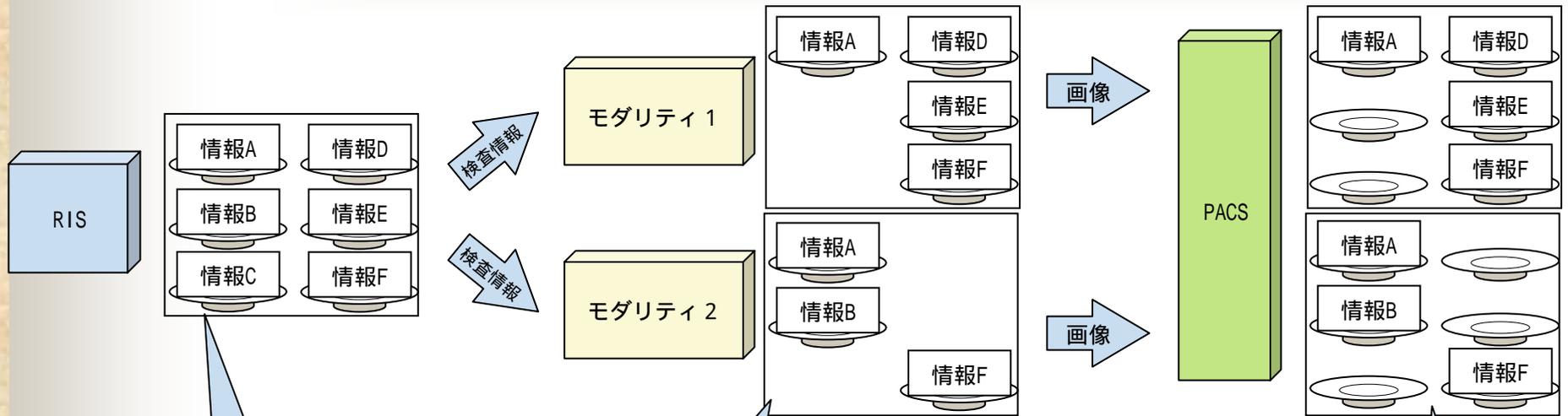
「古いモダリティ」を

統合したい。

従来の画像付帯情報の連携

検査日	ID	氏名	年齢	性別	検査名	依頼科
2005/04/01	0001234567	SAITAMA ^ TAROU		M		
2005/05/04	0004232234	KANAGAWA ^ HANA				
2005/05/05	0003456789	とうきょう いちろう	6 5	男	胸部 X 線撮影	第三内科
2005/05/30	0002323233	千葉 健太郎	4 0	男	右手関節撮影	整形外科
2005/06/01	0000001234	IBARAKI ^ YUU				
2005/06/07	0003345667	とちぎ かなこ ^ 栃木 加奈子	4 8	女		第四内科
2005/07/06	0000000001	ぐんま ようこ		F	腹部 X 線撮影	小児科
2005/07/22	0000378455	ながの ともこ ^ 長野 智子				
2005/08/01	0003334445	埼玉 太郎				
2005/08/02	0000987654	広島 花子				
2005/08/03	0002321211	YAMAGUCHI ^ KOU				
2005/08/08	0002323233	千葉 健太郎	4 0	男	右手関節撮影	整形外科
2005/08/10	0003456789	とうきょう いちろう				
2005/08/23	0003334445	埼玉 太郎	2 4			
2005/08/25	0000001234	IBARAKI ^ YUU				
2005/08/30	0004232234	KANAGAWA ^ HANA				
2005/09/05	0003456789	とうきょう いちろう				
2005/09/11	0000001234	IBARAKI ^ YUU	4 0	男	右手関節撮影	整形外科
2005/09/15	0003334445	埼玉 太郎	2 4			
2005/09/24	0003456789	とうきょう いちろう				
2005/10/03	0002323233	千葉 健太郎	4 0	男	右手関節撮影	整形外科
2005/10/06	0000001234	IBARAKI ^ YUU				

従来の画像付帯情報の連携



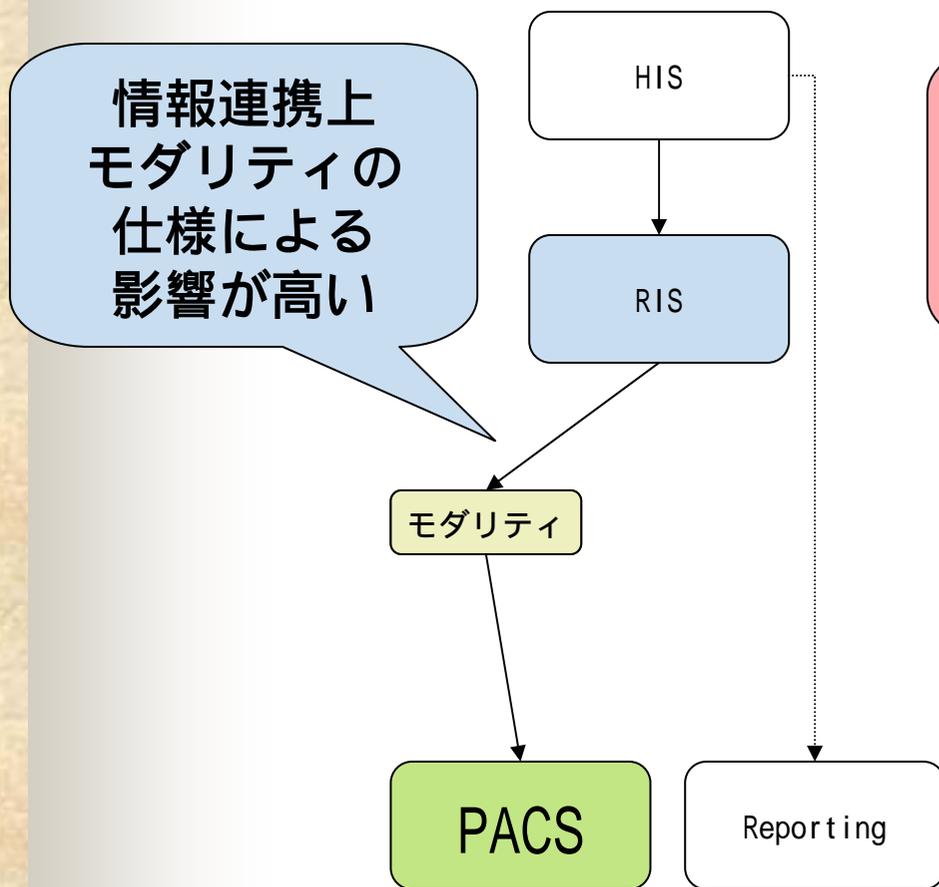
RISには情報が揃っている

しかしモダリティはその全てを連携出来ない
(含日本語対応)

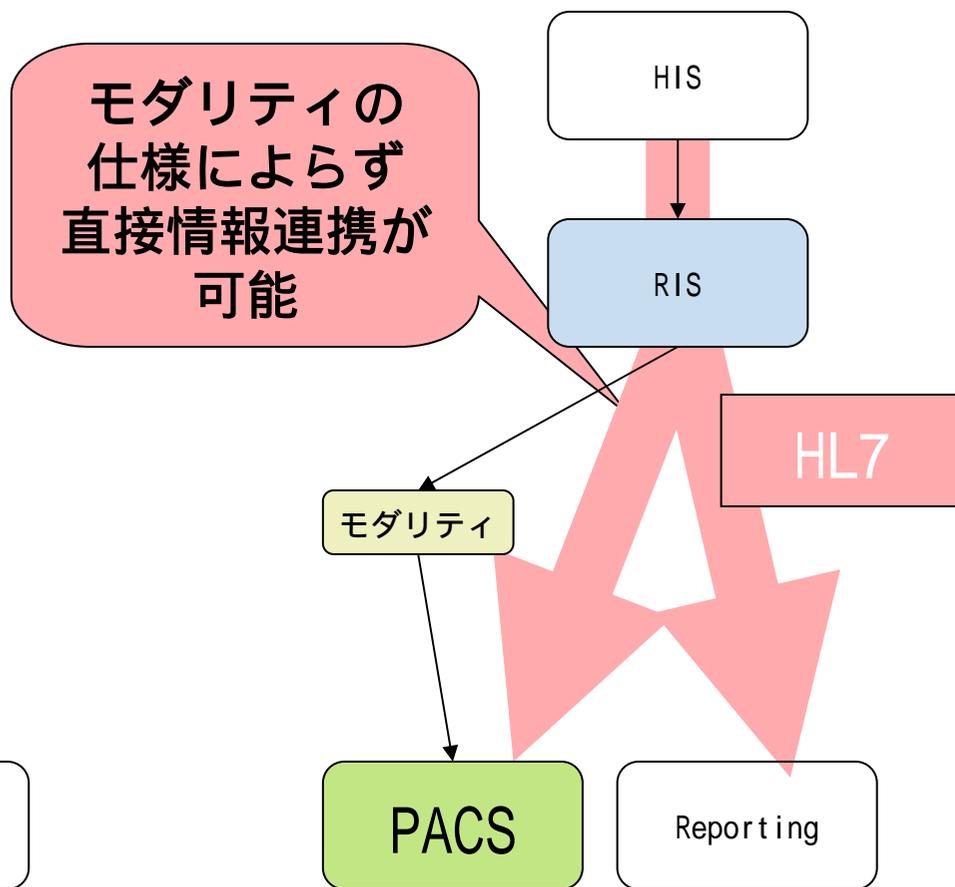
サーバの情報品質が揃わない

連携手法によるモダリティの依存度

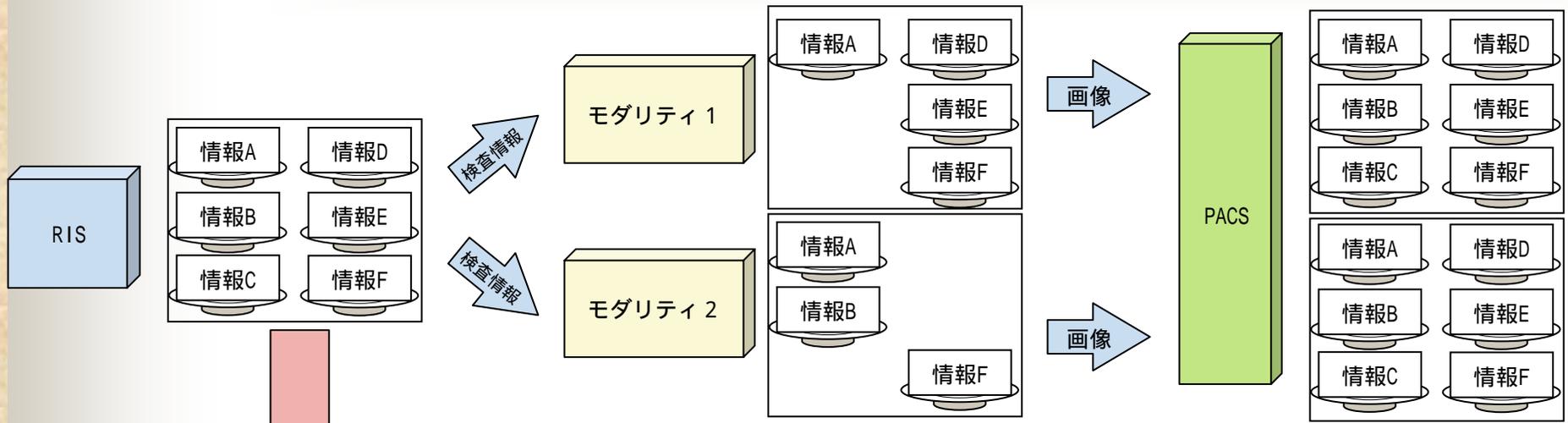
従来の連携手法



IHE-Jによる連携手法



新しい画像付帯情報の連携



RISから届く完全な情報で直接項目を埋める
(埼玉医大の実装例)

画像サーバ (Image Manager) がHL7を理解！
従来の枠組みから考えると革命に近い！

望ましい画像付帯情報の連携

検査日	I D	氏名	年齢	性別	検査名	依頼科
2005/04/01	0001234567	埼玉 太郎	41	男	頭部CT検査	脳神外科
2005/05/04	0004232234	神奈川 華菜	20	女	乳房X線撮影	第一外科
2005/05/05	0003456789	東京 一郎	65	男	胸部X線撮影	第三内科
2005/05/30	0002323233	千葉 健太郎	40	男	右手関節撮影	整形外科
2005/06/01	0000001234	茨城 優	66	女	手関節MRI	整形外科
2005/06/07	0003345667	栃木 加奈子	48	女	胸部1方向	第四内科
2005/07/06	0000000001	群馬 陽子	28	女	腹部X線撮影	小児内科
2005/07/22	0000378455	長野 智子	22	女	骨盤部MRI	産婦人科
2005/08/01	0003334445	埼玉 太郎	41	男	頭部CT検査	脳神外科
2005/08/02	0000987654	広島 花子	10	女	骨盤X線撮影	産婦人科
2005/08/03	0002321211	山口 浩一	26	男	胸部X線撮影	第一内科
2005/08/08	0002323233	千葉 健太郎	40	男	右手関節撮影	整形外科
2005/08/10	0003456789	東京 一郎	65	男	胸部X線撮影	第三内科
2005/08/23	0003334445	埼玉 太郎	41	男	頭部CT検査	脳神外科
2005/08/25	0000001234	茨城 優	66	女	手関節MRI	整形外科
2005/08/30	0004232234	神奈川 華菜	20	女	胸部X線撮影	第一外科
2005/09/05	0003456789	東京 一郎	65	男	胸部X線撮影	第三内科
2005/09/11	0000001234	茨城 優	66	女	手関節撮影	整形外科
2005/09/15	0003334445	埼玉 太郎	41	男	頭部X線撮影	脳神外科
2005/09/24	0003456789	東京 一郎	65	男	胸部X線撮影	第三内科
2005/10/03	0002323233	千葉 健太郎	40	男	右手関節撮影	整形外科
2005/10/06	0000001234	茨城 優	66	女	手関節撮影	整形外科

情報の統合に成功

 DICOM

 非DICOM

1995年導入CT



1991年導入MRI



1995年導入 カメラ





本日の検査 昨日の検査 1週間の検査 検索

患者ID [] 患者氏名 [] 部位 [] モダリティ []



患者ID	患者氏名	生年月日	性別	受付番号	モダリティ	部位	検査日	検査時刻	シリーズ数	画像枚数
岸 真	1952	M	05418-0	CR	胸部	2005.10.17	09:21:35	1	2	
岸 真美子	1950	F	05X17-7	CR	足関節	2005.10.17	12:29:38	1	4	
岸 真子	1949	F	05X08-9	CT		2005.10.17	10:06:50	3	67	
加 真美	1975	F	05X16-3	MR						
杉 真子	1940	F	05X03-3	CT						
杉 真子	1978	F	05926-9	MR						
平 真枝	1946	F	05920-6	CR	胸部	2005.10.17	15:13:07	1	1	
寺 真	1968	M	05914-9	CR						
藤 真美子	1942	F	05926-1	CR						
藤 真白	2002	F	05X17-9	CR	胸部	2005.10.17	15:39:23	1	2	
岸 真乃	2002	F	05X17-5	CR	胸部	2005.10.17	15:12:33	1	2	
打 真	1978	M	05X17-9	CR						
嶋 真三	1941	M	05X04-1	NM/OT						
山 真	1971	F	05928-4	MR						
岸 真子	1931	M	05X17-7	CR	胸部	2005.10.17	13:23:57	1	2	
嶋 川	1943	F	05523-8	CR	胸部	2005.10.17	10:20:45	1	2	
永 真子	1938	F	05X17-8	CR	足関節	2005.10.17	14:43:09	1	3	
加 真直	1936	M	05912-0	CR	胸部	2005.10.17	08:55:38	1	2	
高 真	1954	M	05X14-3	CT						
野 真斗	2004	M	05X17-0	CR	胸部	2005.10.17	19:47:27	1	2	
五 真斗	2004	M	05X17-3	CR	胸部	2005.10.17	09:54:20	1	1	
高 真栄	1927	F	05X17-1	CT						
岸 真子	1977	F	05905-9	MR						
藤 真保子	1951	F	05X13-7	CR						
日 真子	1952	F	05X15-6	CR	胸部/腰部	2005.10.17	11:27:07	2	2	
船 真紀	1971	F	05X17-7	CR	足関節	2005.10.17	12:52:12	1	2	
佐 真次子	1936	F	05X17-7	CR	胸部/手/足	2005.10.17	14:01:48	3	7	
藤 真子	1946	F	05926-9	CT						
井 真	1932	M	05912-1	CR	胸部	2005.10.17	09:39:45	1	2	
岸 真子	1936	F	05920-8	CT						
高 真子	1951	F	05829-9	CR	胸部	2005.10.17	09:46:07	1	1	
中 真子	1941	F	05X03-5	CR	胸部	2005.10.17	10:59:19	1	1	
藤 真子	1957	F	05829-7	CR	胸部	2005.10.17	09:00:30	1	1	
萩 真直	1951	M	05819-5	MR						
吉 真男	1922	M	05X15-8	CR	胸部/腰部	2005.10.17	10:03:49	2	2	
中 真好	1936	M	05X17-8	CR	胸部	2005.10.17	14:46:00	1	3	
加 真美子	1950	F	05X17-5	CR	胸部	2005.10.17	11:11:19	1	2	

CT: GE横河メディカルシステム

CR: コニカミノルタエムジー

核医学: ピッカー

MR: GE横河メディカルシステム



CHEST ABDOMEN CSPINE



ソリューションとしてのIHE-J

JJ1017コードを用いて、
モダリティまで、しっかり
患者情報/検査情報を
連携したい。(MWM)

連携装置一覧

■ RIS (Order Filler)

YOKOGAWA ◆

■ 横河電機株式会社製

RadiQuest/RIS

■ (MWMサーバ)

RadiQuest/Work

■ Acquisition Modality

TOSHIBA

■ 東芝メディカルシステムズ株式会社製

DR装置 Finescope 300 + ADR-1000A

(1998年導入)

DR装置 Winscope 6000 + ADR-2000A

(2004年導入)



MWMにおける 指定タグへの連携 (STEP1)

IHE-Jの規定に従い特定のタグへ符号値を書き込む

- (0040,0008) 予約済みプロトコル符号シーケンス
- >(FFFE,E000) アイテムタグ
- >(0008,0100) 符号値 1210000200010200
- >(0008,0102) 符号系名 JJ1017-16M
- >(0008,0103) 符号系版 3.0
- >(0008,0104) 符号意味 胸部X線立位正面
- >(0040,0440) プロトコル・コンテキスト・シーケンス



Modalityにおける指定タグから コードを読み込む (STEP2)

属性名称	DICOMタグ#	データ(値)
予約済手順ステップシーケンス	0040,0100	
予約済みステーションAEタイトル	0040,0001	ADR_MMM_SCL2
予約済手順ステップ開始時刻	0040,0002	2006-02-28
予約済手順ステップ開始時刻	0040,0003	13:48:55
予約済手順ステップ場所	0040,0011	ADR_MMM_SCL2
モダリティ	0008,0060	RF
実施医師	0008,0060	
手順記述	0040,0007	ENEMA 058K640100
予約済手順コードシーケンス	0040,0008	
手順コード	0008,0100	<u>K640100281000000</u>
手順コードシーケンス	0008,0102	JJ1017-16M
手順記述	0008,0104	DAICHO-CHUCHO
予約済手順ステップシーケンス	0040,0009	1
依頼済手順記述	0040,1400	
CPT Procedure Description	0032,1060	ENEMA 058K640100
CPT 手順コードシーケンス	0032,1064	
CPT Procedure Code	0008,0100	
CPTコードシーケンス	0008,0102	
CPT Procedure Description	0008,0104	
検査インスタンスUID	0020,000D	1.2.392.200045.6960.4.7.100001.2006022810176193
依頼済手順ID	0040,1001	062282210876300
検査医	0040,1010	
画像サービス依頼コメント	0040,2400	
受付番号	0008,0050	062282210876300
依頼医師	0032,1032	
依頼部門	0032,1033	RAD
担当医	0008,0090	
患者ロケーション	0038,0300	

JJ1017-16M

TOSHIBA

閉じる

Mapping Tableを用いて Presetを変換 (STEP3)

検査名(病院定義)

検査名(病院定義)	検査名
K940100263000000	上部消化管
K640100281000000	注腸

突き合わせ

追加 削除 更新

OK キャンセル

TOSHIBA

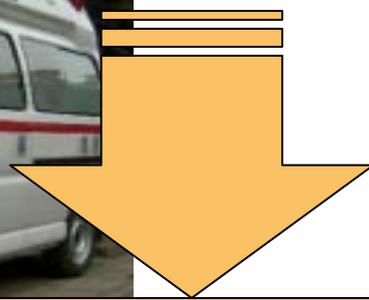
JJ1017-16M

DR (透視) 装置の
プリセットテーブル

マルチベンダ構成でも
画像サーバの患者情報を
自動的に更新可能な
仕組みを採用したい。

患者基本情報の更新？

救命救急に意識不明の
患者が救急搬送
「QQ太郎」で登録



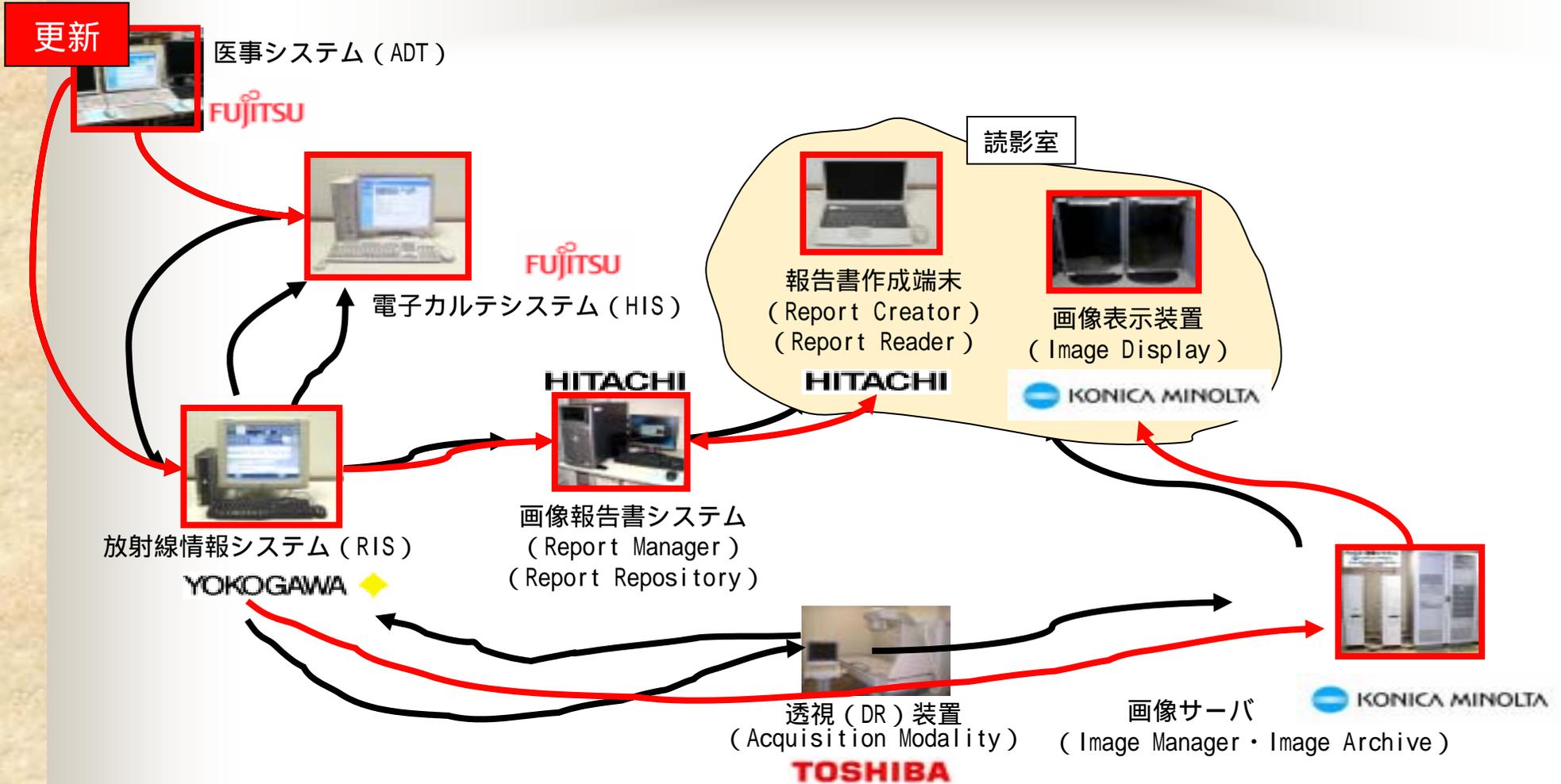
一週間後に意識が回復
それまでのX線撮影・CT検査
どうする？



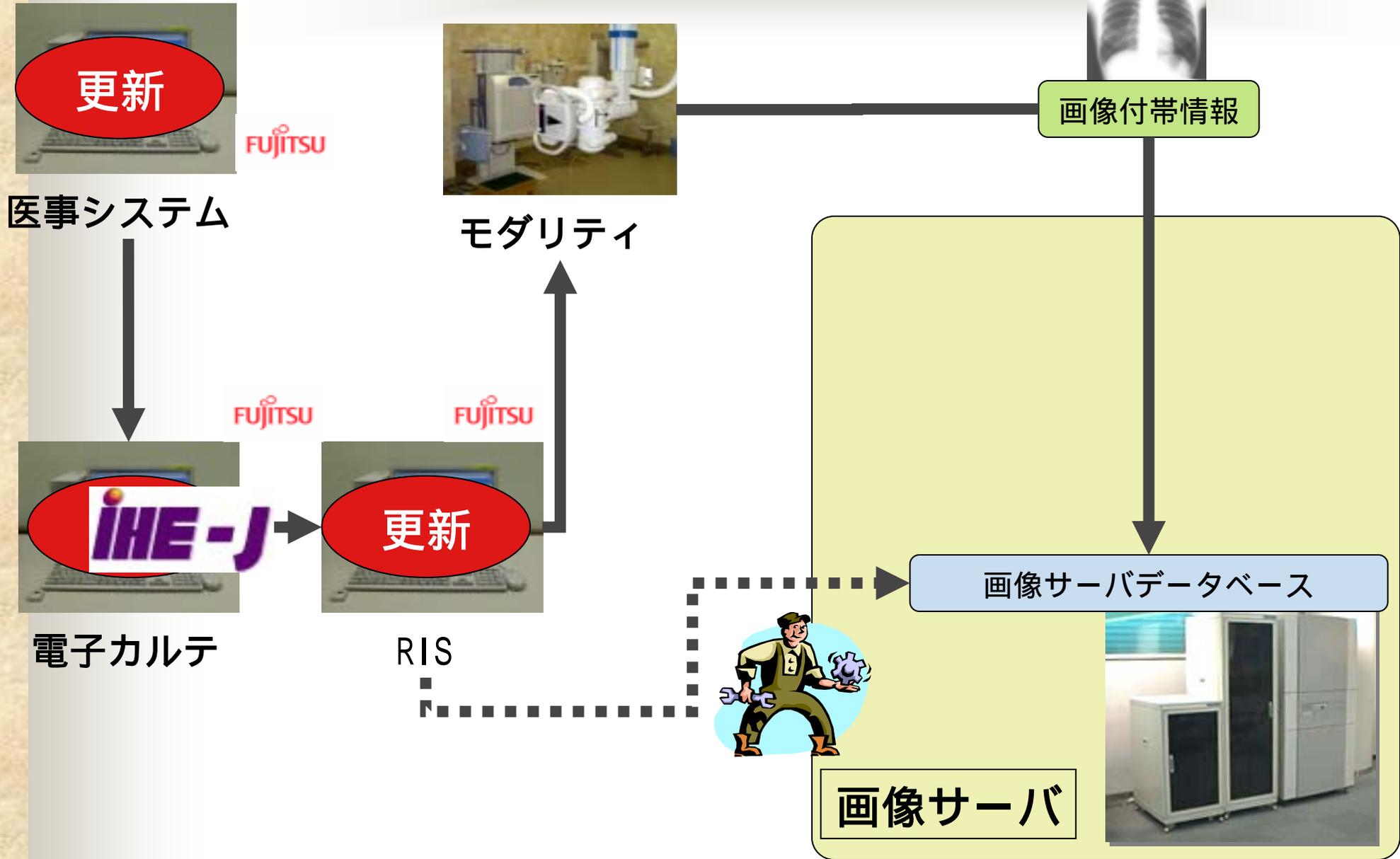
PIR統合プロファイル

PIR : Patient Information Reconciliation
(患者情報の整合性確保)

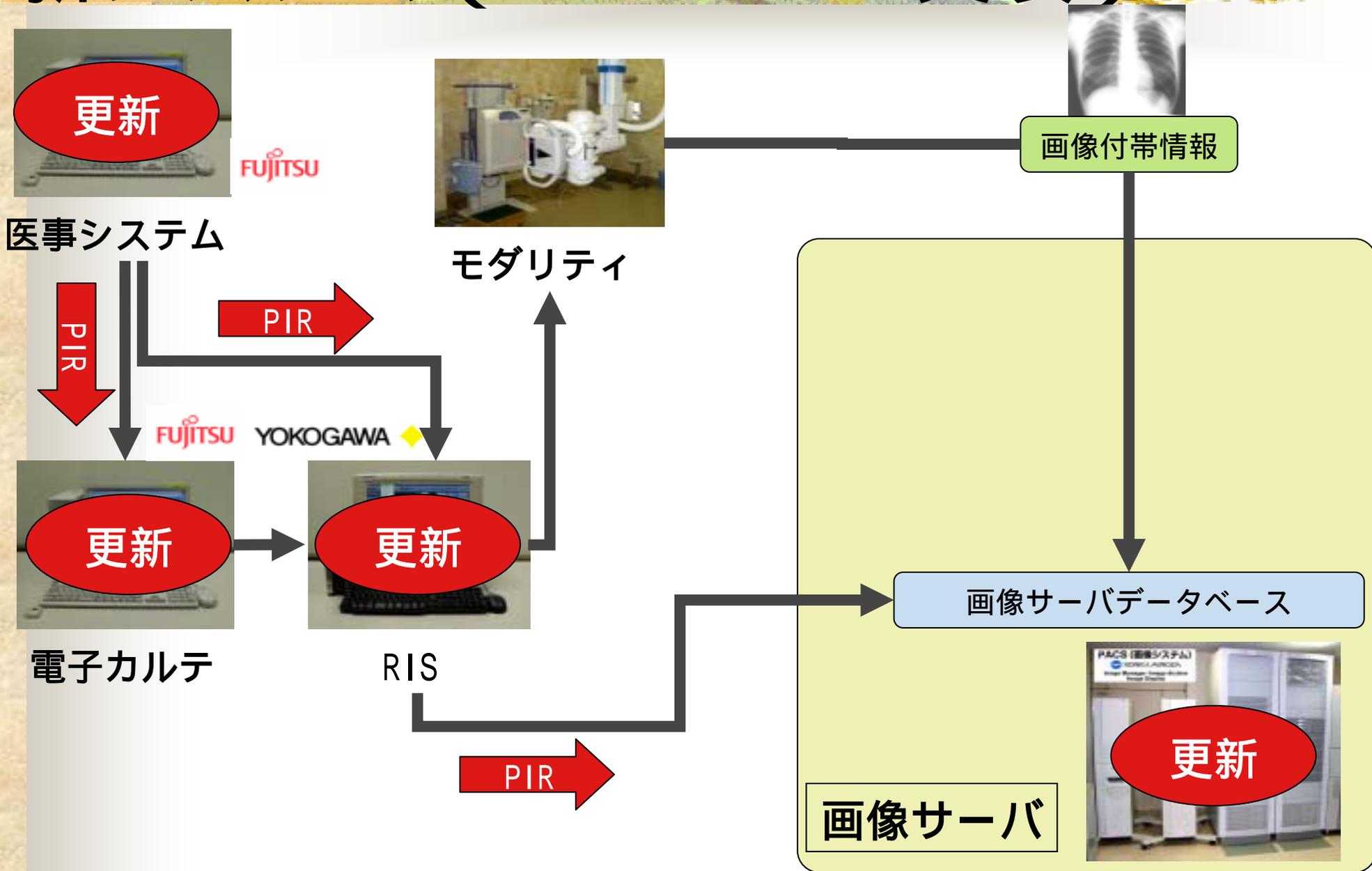
IHE-JにおけるSWF統合プロファイルのシステム連携



従来システム



新システム（IHE-JのPIR実装）





ソリューションとしてのIHE-J

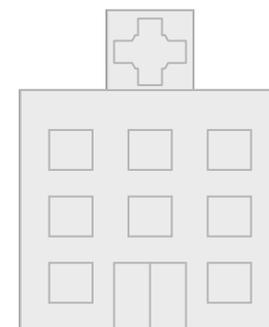
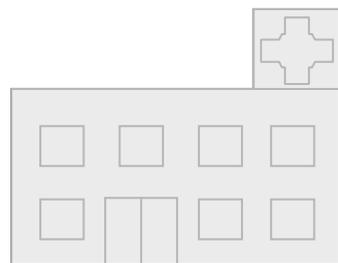
他施設から持ち込まれた、
CD-Rの画像情報を、
当施設のPACSに、
統合したい。

CD-Rに画像を入れ他施設に
渡したい。（病診連携）

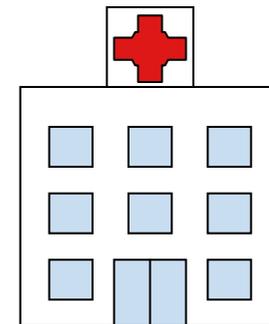
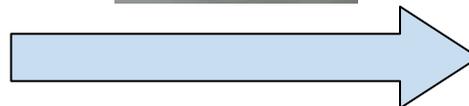
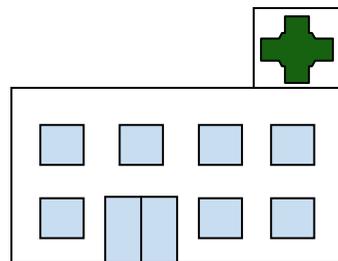
運用の変化

- 近年、検査画像などの診療情報をCD-R等の可搬媒体に保存し、医療機関間を連携する運用が数多く見受けられるようになってきた。

フィルム

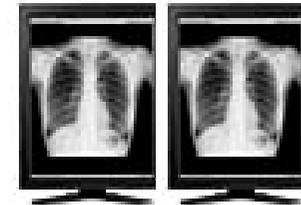


電子媒体



大切なポイント

- 可搬媒体を用いた連携の場合、媒体上に存在する情報の見読は可能であるが、その情報を取り込んで活用するためには、保存規格の統一が急務。



IHE-JのPID統合プロフィール

- PDI : Portable Data for Imaging



DICOM規格で
CD-Rに
画像を保存

患者属性を
修正して



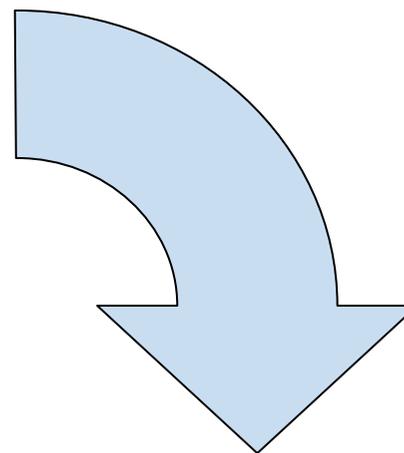
PDI 統合プロフィール

PDI : Portable Data For Imaging
(画像のための可搬媒体)

CD-R可搬媒体持参で再診



 株式会社 イメージワン



電子カルテで検査外注・取込依頼

PET 検査日付 2006/02/27 09:00 身長・体重 身長 155 cm 体重 38 kg 検査前確認済 保険

埼玉医科大学

臨床診断

自科 転帰演表示 削除病名表示

病名	開始日	ICD10
<input checked="" type="checkbox"/> 皮膚Canc	2005/03/14	C449
<input type="checkbox"/> 肺Canc	2005/03/17	C259

病名登録

経過・症状

経過/症状 クリア

検査目的

検査目的 クリア

Follow up

共通

編集 削除

区分 部位 方向・方法

IHE-J病院 画像データ取り込み

最近 1週間後 2週間後 1ヶ月後 半年後 1年後

2月2006年

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

AM/PM空 PM空 AM空 土曜 日祝
緑切 空無 枠無 日祝

予約患者 特メンテナンス

2006/02/27(月) (加算表示)

取得単位数 1

時間	取得人数
09:00-10:00	1/10
10:00-11:00	1/10
11:00-12:00	1/10
13:00-14:00	1/10
14:00-15:00	1/10
15:00-16:00	1/10

選択中 予約済(他科を含む)
緑切 診療科専門件

患者予約一覧

患者状態

聴力障害あり
 言語障害あり
 視力障害あり
 運動障害あり
 意識障害あり
 腎臓障害あり
 日本語不可
 麻痺あり
 点滴あり
 輸液ポンプ
 人工肛門あり

読影依頼

通常
 緊急
 なし

検査当日の透析

あり なし

移動情報

独歩
 車椅子
 ストレッチャー
 ベッド

患者付帯情報

アルコール線過敏感
 検査時鎮痛剤使用
 検査時鎮静剤使用

その他指示

指示あり 指示なし クリア

予約特区分: 通常

オープン 日未定 当日緊急

確定 閉じる



PACSに統合

< Portable Media Importer >



他院の
患者ID

患者ID	患者名	検査日時	検査名	検査ID	検査内容
084C001	084C P01	2004-05-11 10:40:48		489	1.23401130762144.399402087128691300000001340
H040001001	H040001 P01	2004-05-07 15:21:03	Accession Number	Study ID	1.23401130762144.399402087128691300000001340
K040001001	K040001 P01	2004-05-08 18:02:11	2318	1756	1.23401130762144.399402087128691300000001340
P040001001	P040001 P01	2005-01-08 10:52:38	89999939	838	1.23401130762144.399402087128691300000001340
084C001	084C P01	2004-05-11 10:40:48		489	1.23401130762144.399402087128691300000001340
SOFTMED001	SOFTMED001 P01	2004-01-08 10:30:48	1814	1814	1.23401130762144.399402087128691300000001340
SOFTMED002	SOFTMED002 P01	2004-01-08 10:30:48	1813	1813	1.23401130762144.399402087128691300000001340
TSANG001	TSANG P01	2002-01-08 14:51:08	2087421	1823	1.23401130762144.399402087128691300000001340
T0940001001	T0940001 P01	2004-08-28 15:21:48	18000000	1.23401130762144.399402087128691300000001340	1.23401130762144.399402087128691300000001340
T0940001002	T0940001 P01	2004-08-08 11:22:01	2762080	2762080	1.23401130762144.399402087128691300000001340



PACSで表示

自施設と同様に統合



まとめ（IHE-Jは・・・）

- 埼玉医科大学では、IHE-Jを用いて放射線部門の標準的システム連携（相互運用性実現）に成功しました。
- IHE-Jは、既に実際の臨床現場で、有効活用されはじめています。
- 「システム構築における諸問題の解決に向け、IHE-Jを選択する」というレベルにあると思います。

リアル・シヨウルーム

(IHE-J普及に向け医療機関からの見学を受け入れ)



リアル・シヨウルームの見学依頼は、バーチャル・シヨウルーム
<http://www.saitama-ihe.jp/>を参照してください。

バーチャル・ショウルーム

バーチャル・ショウルーム : [HTTP://www.saitama-ihe.jp/](http://www.saitama-ihe.jp/)

平成17年度 経済産業省事業
バーチャル・ショウルーム

IHE-J Virtual Showcase

ショウルーム型IHE-J 実証事業埼玉コンソーシアム

【事業の背景と目的】	【事業概要の説明】	【採用された統合プロフィール】	【実証検証委員会】
【IHE-Jで再構築された連携】	【構築上の課題点】	【事業成果報告書】	【関連する学術発表等】
【各システムの紹介】	【リアル・ショウルームの見学方法】	【事業紹介パンフレット】	【関連サイトへのリンク・情報】

IHE-Jってなに？

IHE-Jの基本についてはこちらから！



IHE-Jで何が出来る？

IHE-J統合プロフィールの機能についてはこちらから！



本サイトは、実際に「IHE-J」による相互運用性を実現したマルチベンダ製射線診断システムの稼働状況等を、バーチャル・ショウルームとして公開するものであり、各医療機関における実際の導入を推進・支援する一助になるものと考えます。

各システムの紹介



電子カルテ
富士通株式会社



放射線情報システム
横河電機株式会社



PACS
コニカミノルタエムジー株式会社



画像報告書システム
株式会社日立メディコ



モダリティ(JJ1017連携)
東芝メディカルシステムズ株式会社

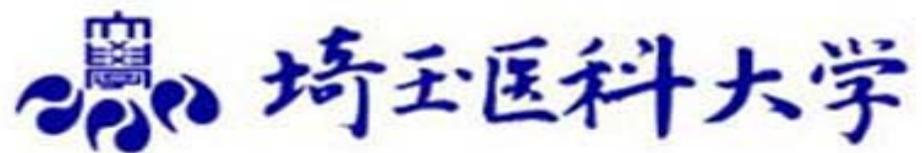


画像Viewer(可搬媒体作成)
株式会社イメージワン

[HOME](#) | [お問い合わせ](#)

ショウルーム型IHE-J実証事業埼玉コンソーシアム

Copyright(C) 2005 学校法人 埼玉医科大学 All Rights Reserved.



POWERED BY

IHE-J